

竹原市決算特別委員会

平成30年9月21日開議

審査項目

○民生都市建設委員会関係集中審査

【建設部関係の一般会計・特別会計】

(平成30年9月21日)

出席委員

氏 名	出 欠
高 重 洋 介	出 席
北 元 豊	出 席
今 田 佳 男	出 席
竹 橋 和 彦	出 席
山 元 経 穂	出 席
堀 越 賢 二	出 席
川 本 円	出 席
井 上 美 津 子	出 席
大 川 弘 雄	出 席
宇 野 武 則	出 席
松 本 進	出 席
脇 本 茂 紀	出 席

職務のため会議に出席した者は、下記のとおりである

議会議務局長 住 田 昭 徳

議会議務局係長 矢 口 尚 士

説明のため会議に出席した者は、下記のとおりである

職 名	氏 名
建 設 部 長	有 本 圭 司
建 設 課 長	大 田 哲 也
都 市 整 備 課 長	西 吉 八 起
下 水 道 課 長	藤 本 嗣 正

午前9時53分 開議

委員長（高重洋介君） おはようございます。

ただいまの出席委員は12名であります。定足数に達しておりますので、ただいまから第4回決算特別委員会を開催いたします。

今日は、建設部関連の集中審査に入ります。それではレジュメに沿って始めていきたいと思います。

まずは、建設部一般会計、歳出農林水産業費ですね。

226ページをお開きください。

農地費、226ページから229ページの上段までございます。そのうち、5生活改善センターに要する経費を除きます。

質疑のある方は、挙手にてお願いいたします。

今田委員。

委員（今田佳男君） 227ページの2番の16地元施工原材料181万3,000円云々ですけれども、件数、それからところによって金額が違うのでしょうか、一番大きい金額が幾らですとかそういった資料があればお願いします。

委員長（高重洋介君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） 原材料の件数でございますが、こちら21件、原材料を支給させていただいております。そのうち一番大きいのが西野町の農道の維持補修ということでコンクリート20万1,366円を支出しております。

以上でございます。

委員長（高重洋介君） 今田委員。

委員（今田佳男君） いいです。

委員長（高重洋介君） いいですか。

松本委員。

委員（松本 進君） それでは、決算書227ページの中ほどのほ場整備事業なんですけど、毎回お尋ねしているのですが、ここは事業目的に沿った波及効果といいますかね、この分の把握があればちょっと教えていただきたいと。

委員長（高重洋介君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） こちらの中田万里の方のほ場整備事業につきましては、全体面積が12.5ヘクタールで平成25年から平成29年、5年間で計画的に事業を実施して

おりまして、昨年平成30年3月に計画どおり完了をいたしております。

事業の効果でございますが、こちらにつきましては5年間とその事業完了後40年間という長いスパンの中で事業効果を検証することになっております。農地を整備することによりまして、大型機械の導入による生産性の向上や作業時間の短縮など、経費の削減など、投資額3億円に対しまして事業効果につきましては、需要期間を含めた45年間で4億4,000万円の総便益性の効果が発生するものと考えております。

以上でございます。

委員長（高重洋介君） 松本委員。

委員（松本 進君） 先ほど今、40数年間ということでしょうけど、4億円余りと言われたのですが、もう一回確認したいのですけども、計画スタートの時の事業概要というのがありまして、この中田万里の分でいえば3億円余りの事業で、それからいろんな事業効果というのが2,400万円だというふうに書いてあるから相当低いのかなと思ったりしたのですが、さっきの4億円近くというのはこれ以外の事業効果というのはここに生産効果とか、営農効果とか、維持管理費の節減とかいろいろありますけど、これ以外にあと3億8,000万円余りあるということではないのでしょうか。

委員長（高重洋介君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） こちらについての御質問でございますが、5年間の計画で進めておりますが、その時に5年間での事業期間と40年間、長いスパンで積算した総便益性が4億4,000万円と積算をした効果があるということで事業を進めております。

以上でございます。

委員長（高重洋介君） 松本委員。

委員（松本 進君） はい、よろしい。

委員長（高重洋介君） そのほかございますか。

大川委員。

委員（大川弘雄君） ちょっと場所的に悩んでいるのですが、農業用施設整備に要する経費だと思うのですが、耕作放棄地というのがだんだん広がってきております。ここに該当しますか。

委員長（高重洋介君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） 担当が産業振興課になりますので、申しわけございません。

委員長（高重洋介君） そのほかございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） ないようでしたら、続きまして228ページの中ほど、樋門維持管理費について質疑がある方は挙手にてお願いをいたします。

宇野委員。

委員（宇野武則君） 災害の折も指摘したのですが、樋門管理ね、特に災害の折の。昔からですがね、ごみの投げ捨てが非常に障害になっていると。特に明神の方の大きなブドウ畑の全て網羅した樋門なんです、女性の方が今管理しているのですが非常に真面目なんです。しかし、ごみを拾うのに危険だし、自動的なものがないので手でやるという、ここらも含めてどのような対応をとられているのか、その点について。

委員長（高重洋介君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） 樋門についての御質問でございます。農林系の樋門につきましては竹原市内には6カ所の樋門排水機場が、ポンプ場がございます。その中で各ポンプ場に管理人を設けまして対応していただいております。しかしながら委員が言われるようにごみの量、管理人だけでは対応し切れないということで、こちらについて管理人が処理するものと別に手数料31万8,000円計上させていただいて対応している状況でございます。

以上でございます。

委員長（高重洋介君） 宇野委員。

委員（宇野武則君） 指摘だけしておきますが、今年のような状況がこれからも想定されるわけですがね、やっぱり責任持って24時間体制で管理するような方策を考えておかないと。機械ですからね、無理がいけば止まるし、燃料が切れれば止まるというようなこともありますので、是非このポンプが稼働することによって、市民に災害の抑止につながるような樋門管理体制をしておいていただきたいというふうに思います。

以上です。

委員長（高重洋介君） 答弁よろしいですか。

委員（宇野武則君） はい。

委員長（高重洋介君） そのほかございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） ないようでしたら、林業費の方に参ります。

228ページの下段、林業総務費、次のページの上の段まででございます。

よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） 続きまして、林業振興費ですね。

その下、230ページですね。その中の1鳥獣被害対策に要する経費を除きます。

質疑のある方は、挙手にてお願いいたします。

竹橋委員。

委員（竹橋和彦君） 233ページの里山林対策に要する経費の中の森林・林業体験事業委託料173万9,880円。このお金はどのように使われたのか。

委員長（高重洋介君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） こちらの森林体験事業の委託料173万9,880円でございますが、こちらにつきましては竹原市内の小学校、今回6校でございますが、吉名小学校、竹原、荘野、中通、忠海、東野の小学校の方の授業の一環として、卒業記念のプランターであったりということを広島の森林協会と一緒に作成した事業でございます。

以上でございます。

委員長（高重洋介君） 竹橋委員。

委員（竹橋和彦君） これ、6校の各学校にプランターを設置して、それを要は県の方と一緒に作成されたということですか。

委員長（高重洋介君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） 学校によっては机であったり椅子であったり、場所によってはプランターであったりということで、その学校が望むものをお聞きして、それにあったような形で体験学習をしていただいたという事業でございます。

以上でございます。

委員長（高重洋介君） 竹橋委員。

委員（竹橋和彦君） 実際に子どもが参加されてその体験をされたと思いますが、その子どもたちの声ですかね、成果というか満足度というかをどのように捉えていますか。

委員長（高重洋介君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） まずは、その作成に入る前に紙芝居形式で森林の大切さというのを学習した上でそういう作業をしていただきました。作業していただいたあとの感想としては、やはりよかったと。卒業記念という学校もございましたので、継続してこういう事業を進めていただきたいというお声はいただいております。

以上でございます。

委員長（高重洋介君） 竹橋委員。

委員（竹橋和彦君） そういう声をもとに今後この事業を継続される御予定はあるのですか。

委員長（高重洋介君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） こちらは、ひろしま森づくりの県民税を100%活用して、そういう事業を行っております。この事業が継続して行われるような形で我々としては取り組んでいきたいと考えております。

以上でございます。

委員長（高重洋介君） 竹橋委員、最後の質問とします。

委員（竹橋和彦君） 子どもたちも卒業等々の記念にもなるのでしょから、今後もずっと継続していただければとお願いしておきます。

委員長（高重洋介君） そのほかございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） 続きまして、水産業費の方に参ります。

234ページをお開きください。漁協管理費、上の段ですね。

ございませんか。

堀越委員。

委員（堀越賢二君） 235ページの2番、漁港整備に要する経費の中の13番、漁港施設機能保全計画策定委託料、これは予算の方から約1,000万円ほど減になっていますが、この内訳についてお願いします。

委員長（高重洋介君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） こちらの保全計画の策定業務2,009万4,480円の事業内容でございますが、竹原市が管理する漁港につきましては、長浜漁港と吉名漁港、2つの漁港がございます。長浜漁港につきましては昭和29年に指定をされまして、昭和32年から市が管理しており、吉名漁港につきましては昭和26年に指定され、平成17年から市が管理を行っているものでございます。今後、漁港の施設の老朽化による大規模な修繕や更新が必要となり、大きな財政負担が必要と予想されることから、計画的効率的に漁港施設の維持管理を行うために、平成28年度から県の補助金2分の1を活用しまして吉名漁港と長浜漁港を対象とした点検調査、また健全度の評価を実施しまして防護機能の保

全を考慮した計画を策定したものでございます。

以上でございます。

委員長（高重洋介君） 堀越委員。

委員（堀越賢二君） 長浜漁港、吉名漁港の長寿命化ということで、実際にこのそれぞれの漁港の整備の具体的な内容についてお願いします。

委員長（高重洋介君） 建設課長。

それとさっきの質問ですけど、減額の理由は漏れていますので、あわせて答弁をお願いします。

予算が3,200万ぐらいだったと思うんですけど。

建設課長（大田哲也君） こちらにつきましては、県の2分の1の補助をいただいて事業を進めるものでございまして、こちら要望額に対しまして内示額が減になったということで減額補正させていただいております。

それと、これの今回整備を。

建設部長（有本圭司君） 委託内容。

建設課長（大田哲也君） 委託の。こちらで点検、整備を行います。内容につきましては、点検と各施設の老朽度の判定をしているという状況でございます。

以上でございます。

委員長（高重洋介君） 堀越委員。

委員（堀越賢二君） 点検と判定ということで、整備についてはこの中には全く含まれていないということではないのでしょうか。

委員長（高重洋介君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） 整備については、後ほど港湾建設費の中での整備費用として1,700万円を計上させていただいて整備をさせていただいております。この管理の中では点検と老朽度の判定を行っているという状況でございます。

以上でございます。

委員長（高重洋介君） 堀越委員。

委員（堀越賢二君） 港湾関係、非常にお金がかかるのかなといつも思ったりもします。この委託料ということが、平成30年度の予算においてはこれは予算計上されていないということは一応29年度をもって、その長浜漁港、吉名漁港ほか竹原もありますけれども、そういう港湾関係の一定の点検とその点検の結果といいますか、判定であったり、そ

ういうものは全て点検できて一応これで終わったという考えでよろしいでしょうか。

委員長（高重洋介君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） 今回の点検で、一通りは終わっております。そして、この点検を県の補助をいただいて行うのですが、今後整備が必要な場合は点検をしていないところには補助がおりないというところもございますので、一応全ての点検を行いまして、今後それに向けて補修が必要な箇所を整備していきたいと考えております。

以上でございます。

委員長（高重洋介君） 堀越委員。

委員（堀越賢二君） かなり今回の豪雨災害においても様々な影響が出ていることだと思いますし、漁港の整備といったようなことだけでなく河川から通じる海の面に関しての整備というものはやはりしっかりしていくべきだと思います。これはその漁港の施設の機能保全ということではありますけれども、全体的に海に面している竹原市ですからしっかりその辺の整備はしていかななくてはいけないと思いますが、30年度は予算化されてはいないということですけど、この長寿命化に関しての今後の全体的なビジョンというものはありますか。

委員長（高重洋介君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） 点検の結果を踏まえまして、やはり優先度の高いところ、緊急性の高いところから整備をしていきたいというところで今後取り組んでいきたいと考えております。

以上でございます。

委員長（高重洋介君） 最後の質問としてください。

堀越委員。

委員（堀越賢二君） そうですね、優先順位も何をもって優先とするかも非常に難しいところではあるのですが、そこら辺はしっかりと地域の声も聞きながらではあります、安心・安全、漁港としての運営がきちんとしていけるようなものというところで、この部分においてはしっかり今までしていただいたと思いますので、このものの委託料はなくなりましたけど引き続き努力していただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

以上です。

委員長（高重洋介君） そのほかございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） それでは、234ページその下ですね、漁港建設費。

質疑のある方は、挙手にてお願いいたします。

ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） それでは商工費の方に参ります。

商工総務費、234ページの一番下の段から次のページ、また239ページの上段までございますが、239ページ、4工業団地に要する経費、その中の19竹原工業流通団地送水設備工事負担金、ここを除きます。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） ないようでしたら、土木費の方に参ります。

244ページをお開きください。

土木総務費244ページの真ん中から次のページにかけてあります。

質疑のある方は、挙手にてお願いいたします。

委員（大川弘雄君） 247ページ。

委員長（高重洋介君） 247ですね。

大川委員。

委員（大川弘雄君） 247ページ、19番の真ん中辺です。

国道432号改良促進期成同盟会負担金がありますが、この実績をお願いします。

委員長（高重洋介君） よろしいですか、建設課長。

建設課長（大田哲也君） こちら国道432号改良促進期成同盟会負担金2万3,800円、こちらについては会長が庄原市の市長が会長になっております。竹原から島根県松江市までのルートでございますが、国への要望活動ということで負担金2万3,800円を支出している状況でございます。

以上でございます。

委員長（高重洋介君） 大川委員。

委員（大川弘雄君） この国道432号、陳情にいくわけですけども、僕が副議長の時だったのでですけど、ほかの行事と重なってなかなかうちが市長、議長が行けないのですよね。そういうところも含めて、是非この今残っているのは松江市と竹原市だけです。後のところは全部終わってますから。うちは必要なものでしょ。進捗状況を聞いていいです

か。

委員長（高重洋介君） 都市整備課長。

都市整備課長（西吉八起君） 国道432号、竹原の中の第3工区で分かれて施工しておりますけれども、そちらの方の進捗状況になりますが、平成29年の進捗状況は66%となっております。

以上です。

委員長（高重洋介君） 大川委員。

委員（大川弘雄君） 大仙バイパスができて、あのあたりはよくなりました。この間、賀茂川の決壊に至る手前みたいなのもありましたけども、この432ができれば護岸の補強もできるわけですから、災害に強い町にもなるわけでしょう。安田さんところの前は狭くて危ない。是非これを早くやっていただかないと困るのですけども、これに対しての、まあ国のことですから、そうはいつでも使うのは市ですよ、どのような活動をしていく予定がありますか。

委員長（高重洋介君） 建設部長。

建設部長（有本圭司君） 国道432号の御質問でございますが、先ほどまず建設課長が述べましたように、国道432号につきましては本会の会長が庄原市長という形で、庄原市長をはじめといたしまして、毎年国であったり、あるいは広島県であったり、場合によっては本省の方に出向きまして、年数回ほどこういった要望活動というのを実際に実施しております、本市においても本市の市長であったり、あるいは議長さん、副議長さんですね、含めて毎年要望陳情とかさせていただいているということでございますので、引き続き、国や県に対してこういった様々な要望活動を通じて早期完成を目指して竹原市も一緒に取り組んでまいりたいというふうに考えておりますので、よろしく願いいたします。

委員長（高重洋介君） 大川委員。

委員（大川弘雄君） 今まではその利便性のことだけで要望してきたところがあったのですけれども、今回災害がありましたね。賀茂川のことがあります。これはこの道ができれば災害復興にもつながるではないですか。是非その要望活動の時には復興ということでもってもらわないと。そうすれば、賀茂川の西側の弱いあたりが強い護岸になるわけでしょう。道ができればそこは護岸として強いものになります。是非そういうことも含めて強く要望していただいて松江よりも早くやってもらわないと、うちは一番困ってるところだと

思いますよ。これ、松江が先にやったらうちは最後ですからね。あとは終わっているのですから。松江さんよりもうちの方が困っているのですから。是非早急に目途を立てていただくよう頑張ってくださいと思います。いかがですか。

委員長（高重洋介君） 建設部長。

建設部長（有本圭司君） 大川委員御指摘の国道432号の今回の復旧復興含めた早期整備ということでございます。現在、新庄の2号の交差点から東野の中央橋の間、これはいわゆる第3工区になってますけど、こういったところを用地買収についてはおおむね9割以上用地取得しております、今現在、東洋コルクさんの裏の方ですかね、今県の方で一部工事に着工していただいております河川のつけかえとかしていただいておりますので、引き続き予算の確保と早期整備目指して働きかけを一緒に取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

委員（大川弘雄君） お願いします。

委員長（高重洋介君） その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） ないようでしたら、道路橋梁費の方へ移ります。

目の1道路維持費ですね。246ページの一番下の段から249ページの上段にかけてでございます。

質疑のある方は、挙手にてお願いします。

山元委員。

委員（山元経穂君） 249ページの維持補修工事425万5,200円についてお聞きしたいと思います。

維持補修工事、そのとおりだと思うのですよ、これ予算名目って。ただ、本市も財源が非常に厳しくなっていると、その上で今後の維持補修工事の予算を鑑みた時にいろいろとなんか新しい方法等を考えていく必要があるのではないかと思います、その辺の御認識についてお伺いしたいと思います。

委員長（高重洋介君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） まず、維持補修工事425万5,200円の内容でございますが竹原市内の9路線の舗装工事を行っております。ただ、工事の一般競争入札によりまして工事を発注している状況でございます。

以上でございます。

委員長（高重洋介君） これまで以上の強い道路にするために、今改良された工法、これまで以上の工法でやるお考えはありますかという。

建設課長。

建設課長（大田哲也君） これまで道路管理につきましては従来の舗装であったり、道路補修を行っておりますが言われるように新しい工法、コスト的にも安くなる工法、そういった新工法での対応というのは今後調査研究して参りたいと考えております。

以上でございます。

委員長（高重洋介君） 山元委員。

委員（山元経穂君） 今、工法ということで技術のあり方と技術革新にあわせて最新のものを導入して調査研究していくということはわかりました。

もう一点、大事な視点であるのは管理のあり方だと思うのですよね。例えばPFIとか、もちろん市民サービスの向上ということが担保されなければいけないことであるとの上での質疑であります。PFIとかということも考えていくべき時期に差しかかっているのではないかと。先般も一般質問で指摘したように、必ずしも市道でPFIができないというわけではないんですよ。もうこういうことをしていかなければ本市の財源をなかなか維持していくのが難しくなっていくと思うのですが、このあたりについてお願いいたします。

委員長（高重洋介君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） ただいまの維持管理のあり方ということで、現在は道路の維持管理については補修が必要な箇所については地元の事業者さん、建設業者さんをお願いをして補修、維持管理をお願いしているところでございますが、今後御指摘のようにPFI、そうした新しい考え方というか、そういうものもよい事例があれば参考にしてそれを調査研究して検討していきたいと考えております。

以上でございます。

委員長（高重洋介君） よろしいですか。

委員（山元経穂君） はい。

委員長（高重洋介君） その他。

大川委員。

委員（大川弘雄君） 249ページ、13番、県道維持保守委託料。これが予算では4,000万円、執行は1,900万円ということなんですが、これはたしか県道の竹原南

方、斎場のところの道だと思うのですけれども、これの進捗状況はどうなってますでしょうか。

委員長（高重洋介君） 進捗状況を。

建設課長。

建設課長（大田哲也君） 県道の進捗状況。これがですね、後から出てくるのですが、県道の負担金の方の265万円が先ほどの南方竹原線の内容になるのですが、南方竹原線の進捗状況ということで、現在県道から斎場までの間、こちらについては待避所を2カ所設置するというので県の方が取組を行っておりますが、用地のところでは公図と現状が整合されていないということで、今その整理をしているということで伺っております。

以上でございます。

委員長（高重洋介君） ほかに南方線の件につきましては251ページの県営道路整備に要する経費の中に入っているらしいので、そっちの方で聞いていただけますか。

そのほかございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） 続きまして、道路新設改良費ですね。

248ページの下段から251ページの上段まであります。この部分に入っています。

大川委員。

委員（大川弘雄君） ごめんなさい。今のところがここの予算だそうです。県営道路整備事業、これは南方のところですね。今の続きからやらせたらうと、進みつつあるということなんです、相当以前から予算組んではなくなり、組んではなくなりという状況が続いてました。今やっと、この時点ではなかったでしょうけど、今年やりつつあるように見えます。

あそこが進まない理由というのが、やっぱり所有者が不明であったり、危険箇所も多かったり、いろんな理由があると思うのですけども、少なくとも皆さんが使う道ですよ。やらないといけない。斎場への道です。斎場まで皆さん使うわけですから、そこを是非整備しないといけないことをやっていただきたい。

それと、法律が変わりましたので所有者不明の時でも利用できるような形が見えてきたではないですか。そのあたりを有効に活用しながら、是非部分的に少しずつでも、一度にできないと思いますけども、少しずつ今やっていることを続けていってください。いかがですか。

委員長（高重洋介君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） この路線については、以前から地元の方から強い要望をいただいております。市の方としましても、こちらの道路、部分的にでもできるところから整備をしていただくよう県に強く要望して参りたいと考えております。

委員長（高重洋介君） 大川委員。

委員（大川弘雄君） 今始まりつつあるというのは聞いていますから、是非早目の対応をお願いします。

以上です。

委員長（高重洋介君） そのほかございますか。

山元委員。

委員（山元経穂君） 今、大川委員が質問されたのは県営道路整備事業に要する経費265万7,590円。毎回毎回、決算の時にいつも質問が飛び交っていると思うのですが、これは一義的には県ですよ。県がなかなか推進してくれない理由というのが何かあるのですか。市の方が陳情してもなかなか進まない。

委員長（高重洋介君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） こちらの予算を組む時には、我々としては積極的に事業をしていただきたいと、そういう要望を踏まえて予算計上をさせていただいているのですが、なかなか県の方が実施というか、予算の段階では満額という回答をいただいているというのが現状でございますが、引き続きこちらについては我々も必要な道路でございますので、予算時期には積極的に要望していきたいと考えております。

以上でございます。

委員長（高重洋介君） 山元委員。

委員（山元経穂君） 結局、一義的に県がやっぱり予算をつけてくれないとなかなか進まないという解釈ですよ。ですから県の方に引き続き要望をお願いしたいと思いますし、県がつけてくれない、県がなかなか満額で予算を回答してくれないということは、その理由、これは一般質問ではないので必要以上には聞きませんが、やはり県の責任だと思いますので県に対して今後とも強く要望していただければと思います。

以上です。

委員長（高重洋介君） よろしいですか。

委員（山元経穂君） はい。

委員長（高重洋介君） そのほかございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） ないようでしたら、その下、橋梁維持費に移ります。

質疑のある方は、挙手にてお願いいたします。

竹橋委員。

委員（竹橋和彦君） 251ページの橋梁維持改修に要する経費で、測量設計は終わっているみたいなんですけれども、補修工事4,800万円、これが使われてないのですがその理由をお聞きしたいです。

委員長（高重洋介君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） こちら、また測量設計の委託料1,000万円の内容でございますが、こちらにつきましては竹原病院から過ぎたところの親耕橋の補修設計の業務委託料として588万円と市内の橋梁の点検業務として34橋の点検、467万円を委託として事業施行しておりますが、こちらにつきましても国補助金2分の1を活用いたしまして進めております。国からの内示額が少ないということで、この点検につきましても本来ならば70橋ほどするのですが、その足らずについては職員が点検を行っているという状況でございます。

以上でございます。

委員長（高重洋介君） 予算書では4,800万円についている部分が使われていないという質問だったと思うのですけど。

建設課長。

建設課長（大田哲也君） こちらにつきましては、内示額の減ということで4,800万円減となっております。

以上でございます。

委員長（高重洋介君） 竹橋委員。

委員（竹橋和彦君） 当初、予算審議の時に緊急性の高いところからやっていくよというのがありましたので執行されるのかなと思ってましたけど、内示がないということで不執行になってしまったよと、そういうふうに理解していいわけですね。

委員長（高重洋介君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） こちら工事をする予定でございましたが、内示がつかないということで整備の方が遅れている状況でございます。

以上でございます。

委員長（高重洋介君） いいですか。

そのほかございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） それでは、河川費の方に移らせていただきます。

250ページをお開きください。河川総務費ですね、250ページから253ページ、上段にかけてでございます。

今田委員。

委員（今田佳男君） 251ページ下の方、1の19番、河川清掃作業補助金14万9,000円。これは件数とか、それから内容とかわかる範囲でお願いします。

委員長（高重洋介君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） こちら河川清掃、各団体さん、主に自治会でございますが、こちらの方に河川の清掃をしていただいて、その補助ということで件数としましては29年度22件の団体の方が清掃活動をしていただいております。

以上でございます。

委員長（高重洋介君） よろしいですか。

そのほかございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） それでは、港湾管理費の方へ移らせていただきます。

山元委員。

委員（山元経穂君） 253ページの港湾管理費で、13番、海の駅指定管理委託料800万円についてなんですが、これ決算資料の方で36ページから37ページ、38ページと3ページで平成27年、28年、29年の収支決算が出ているわけですよ。収支が27年度マイナス3,000万円、28年度がマイナス2,300万円、そして今年度がマイナス2,700万円ってすごい収支、赤字が出ているわけですよ。確かに減価償却が1,400万、大体約平均で1,500万円かかっているので、何らかの整備をしたということがこの分をひいても平均したら1,000万円以上の赤字になるという計算になるのですが、どういう認識をこの指定管理者についてお持ちですか。

また、結局こういう赤が続けば、地域の雇用ということも最初この指定管理をする時にはうたっていたと思うのですが、その地域の雇用ということでも大変な危機に面すると思

うのですが、そのあたりの認識についてお伺いしたいと思います。

委員長（高重洋介君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） この指定管理料800万円の御質問で、赤字が続いているという御指摘でございますが、この赤字の主な原因といいますのは竹原の海の駅の3階のレストラン部分、1階の売店部分、こちらにつきましては指定管理者が自主的な収益部分として設備にも事業者が出費をして、なおかつ収益施設の面積に応じた利用料も支払ってということでもかなり厳しい条件の中での指定管理料ということで行っております。

その中で赤字、減価償却分、当初投資しました金額が取り戻せていないという状況でございます。これにつきましては、黒字に向けまして指定管理者と協議をし、業務改善等指導を行いながら黒字になるように努めてまいりたいと考えております。

委員長（高重洋介君） 山元委員。

委員（山元経穂君） 黒字になるように指定管理者と協議されているということですが、ただ3年間マイナス2,000万円、もっといえばマイナス3,000万円近い赤字が3年間続いているわけですね。これは長期経営計画みたいなものを指定管理者から見せていただいたことと違って。まあ要するに、いつになったら収支が改善して黒字になるかという目算みたいなものを見せていただいたことはありますか。

委員長（高重洋介君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） まずはこの指定管理者を決定する際に5年間での管理計画を提出していただいております。その中で、投資額、設備投資をしたものを5年間で返していくという計画でございましたが、実際にはそういう当初の計画よりもかなり経営状況が芳しくないということもございますので、今後引き続き業務改善が図られるように努めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

委員長（高重洋介君） 山元委員。

委員（山元経穂君） 5年間の指定管理計画でいって、今累積で言うと8,000万円近い赤字があるわけでこれを返そうかと思ったら、あと2年でとんとんにするのですよ。経常利益で4,000万円の収支の改善を単年ごとに図っていかなければいけない。これはやっぱりなかなか難しいと思うのですよね。協議して指導されているというのは当然のことだと思いますし、それは理解しているつもりですが、これはやっぱりかなり強い指摘というか改善命令とまでは言えない、改善策を指定管理者に求めていかなければ今後大変な

ことになると思うのですが、その辺の認識についてお願いいたします。

委員長（高重洋介君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） 御指摘いただいたことを踏まえまして、今後赤字の原因であるとか業務改善の方、そうしたものを指定管理者と協議して、今後少しでも黒字になるよう努めてまいります。

以上でございます。

委員長（高重洋介君） 山元委員。

委員（山元経穂君） これ先ほどもありましたが、竹原市、海に面しているということであって竹原市の売りの一つは海だと思うのですよね。その海の玄関口でせつかくこういう指定管理で商売をしていただいて、また雇用にもつながっているものが崩れると本市のイメージとしても余りよくないと思いますので、その辺は厳しく指定管理者に指導していただきたいということをお願いして終えておきます。

委員長（高重洋介君） いいですか。

松本委員。

委員（松本 進君） 今のちょっと関連の質問なんですけれども、今話を聞いて、民間へ指定管理されて収支のことが話がありました。今の話を聞いても売り上げを飛躍的に伸ばすとか、経費の方はなかなかちょっと厳しいかもわかりませんが、そういった展望が今なかなか聞いただけでは見えないということで、一点だけ質問したいのは大きな公共施設の役割からすれば私が以前から言っているのですけれども、こういった民間に託す指定管理、そこがもう限界に来ているのではないかなという大きな思いがあって、それは今の会社を変えれば改善ができると、赤字から黒字になるよという展望は今話を聞いてもないと思うので、私が思うのはこういう指定管理という民間業者への委託そのものを検討しなくてはいけないのではないかなと思うので、その点どうでしょうか。

委員長（高重洋介君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） このたびの指定管理、平成26年8月1日から平成31年7月31日の5年間というところで現在指定管理をしていただいておりますが、今後の方針という御指摘でございますが、我々としてはこの5年間こうした形で契約に基づいて業務を遂行していただいておりますが、引き続き業務改善を図りながら少しでも黒字になるように努めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

委員長（高重洋介君） いいですか。

その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） ないようでしたら、港湾建設費の方に参ります。

質疑のある方は、挙手にてお願いいたします。252ページですね、その……。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） ないようでしたら、続きまして都市計画費の方に参ります。

252ページの一番下の段ですね。都市計画総務費ですね。255、257ページのところまでございます。

今田委員。

委員（今田佳男君） 257ページの一番上の住環境整備で耐震改修促進63万円、予算は210万円だったのだと思うのですが、件数と内容を教えていただけますか。

委員長（高重洋介君） 都市整備課長。

都市整備課長（西吉八起君） 住環境整備に関する経費の中の耐震診断と改修、これの補助になるのですけれども、予算の方が診断が10件、3万円の補助で10件という予算をとっておりまして、こちらの方が29年度実績で1件になりますので、その残りが減っております。

改修の方の予算が3件、60万円掛ける3ということで予算をとっておりましたが、こちら1件ということで63万円の支出という形になっております。

以上です。

委員長（高重洋介君） 今田委員。

委員（今田佳男君） 今回、雨の方の災害ということで非常に苦勞したわけですが、今度地震がかなりいろんなところで起こっている。そうすると、こういうふうに予算とって市民の方に耐震とか啓発とかという意味もあると思うのですけれども、もう少し啓発されて利用いただけるような方向にさせていただいたらと思うのですが、どうでしょうか。

委員長（高重洋介君） 都市整備課長。

都市整備課長（西吉八起君） 今の御指摘で、うちの課の方でも非常に思っておりまして、今年度の予算から耐震診断補助を倍ほど補助するということで3万円が6万円という形で増やして、普及啓発というのをやっていこうということで進んでおります。

ですが、なかなか今年災害以降の相談もなくなった状態があるので、実績として上がるかはちょっと難しいのですが、そういうふうには危機感を持ちながら取り組んでいっているところでもあります。

以上です。

委員長（高重洋介君） いいですか。

大川委員。

委員（大川弘雄君） 257ページ、住環境整備に要する経費のうちの19番、住宅改修助成事業。これ、執行が100万円になっていますが、この事業効果をお願いします。

委員長（高重洋介君） 都市整備課長。

都市整備課長（西吉八起君） こちら竹原市安心住宅改修助成事業の方になるのですがけれども、この事業は住宅内での事故防止とか市民の負担軽減を図るために、非課税世帯の方へ補助しながら住宅改修に要する経費を補助するという事で昨年度から始まった事業になります。

こちらの方で今の事業効果ということなんですけれども、10万円以上の工事で2分の1を補助するという内容になっておりまして、上限が20万円になっております。昨年度の実績が予算が7件分、140万円の予算であったところが、申し込みは7件あったのですが、2件の方が該当しないということで5件執行しております。ということで100万円の支出という形になっております。

契約額との差による経済効果ということですが、契約額に対しては3.4倍という形になっております。

以上です。

委員長（高重洋介君） 大川委員。

委員（大川弘雄君） リフォーム助成金といったところの形が変わったものなんですけれども、これは使いづらいのではないですかね。非課税の方だけというのも、まあそういう考え方もあるのかもしれませんが、こういう住宅改修をしていただければさっきの3.何倍というのがありますし、産業振興にもつながるではないですか。そういうことを考えた時にはもう少し使いやすいものにしていって、私の個人的な希望では、店舗は置いてでも空き家に使えればこれが賃貸物件になるわけでしょう。そうしたら空き家バンクに登録していただいて、人口が増えるといったところまで発展していかないですかね。この事業がそういう方向に発展していくような感覚はお持ちではないですか。

委員長（高重洋介君） 都市整備課長。

都市整備課長（西吉八起君） 今こういう住宅改修関係の補助で空き家対策，空き家の解消の方向にも発展できないかという御質問なんです，うちの方としましては空き家に向けての取組というのは非常に大事だと考えております。この安心リフォームだけがそれに該当するのではなくて耐震改修と耐震診断，それと今年度の予算いただきました空き家の改修助成事業，こういうもの全てを絡めながらやっていきたいなどは考えております。

この中で，安心助成事業というのは昨年度から始めたのは低所得者，こちらの方の助成の%を上げて，そちらの方を力を入れようという補助面になっておりますので，今の現状ではちょっと様子を見させていただきたいと考えております。

以上です。

委員長（高重洋介君） 大川委員。

委員（大川弘雄君） おっしゃるとおり耐震のことも予算を組んでいただいているので，こちらからも入りやすいと思うのですが，どちらから入っても空き家の方面に向けて目がいくような考えを持っていただきたいと強く要望いたします。

以上です。

委員長（高重洋介君） そのほか。

松本委員。

委員（松本 進君） 私も耐震促進というのは先ほど質問が出たので，要するに3件の分が1件とか説明がありました。それで，現在の民間の耐震化率だけを聞いておきたいと。

委員長（高重洋介君） 都市整備課長。

都市整備課長（西吉八起君） 大変申しわけないのですが，住宅全ての耐震化率というのは今ちょっと用意できてはいないのですが，耐震促進計画策定の段階で民間の，昨年の方策定した時に一応出している数値というのはあるので，ちょっと今は記憶にないので申し上げます。後ほどパーセントを報告させていただければと思います。

委員長（高重洋介君） よろしく申し上げます。そのほか。

川本委員。

委員（川本 円君） ページ数同じく257ページ中ほどの集約都市形成支援事業に要する経費の13番，まちづくりコーディネート支援委託料についてお伺いします。

まず，最初に委託先とその実績についてお伺いしたいと思います。

委員長（高重洋介君） 都市整備課長。

都市整備課長（西吉八起君） 集約都市形成事業ということで、こちらの方の委託先なんですけれども合同会社になりますが、復建調査設計株式会社と広銀経済研究所、こちらの共同の会社が受託した状況になります。

こちらの集約都市形成支援事業というのは庁舎移転に伴う複合施設の今後のあり方、これについての検討をするための事業になります。3カ年の事業の計画で今1カ年ということなんですが、こちらの中身でしているのはPFI、リース方式、民間のノウハウ等をサウンディング方式、聞き取りをしながらそういう方向性を調査していこうという形になっておりまして、こちらの方の実績としましてでき上がったものは今の事業管理運営スキーム、これを検討したもの。竹原市における市場動向、そういうものと調査結果の報告というのが主な実績になっております。

委員長（高重洋介君） 川本委員。

委員（川本 円君） 今のお話では、集約都市形成支援事業というのは庁舎移転をベースとした話ということですから、ちょっと私勘違いしていたのですがコンパクトシティとはまた別の話でいいわけですか。それをちょっと確認したい。

委員長（高重洋介君） 都市整備課長。

都市整備課長（西吉八起君） コンパクトシティ、昨年度立地適正化計画を策定させていただいた流れで、市全体の将来的な目標としてコンパクトシティとこちらの中心部の統合というのがありまして、この集約都市形成支援事業はどちらかというところの公共施設ゾーンに特化したものとなっております、今年度からは都市整備課ではなくて、公共施設整備調整課の方の所管になって引き続きその中でやっていくといく形になっております。

以上です。

委員長（高重洋介君） 川本委員。

委員（川本 円君） はい、わかりました。

今の話では、3カ年の計画で今回1年目ということですから、今後これ以降30年度、31年度にかけてやはりまたコーディネート委託料を払ってそこら辺の調整、もともとコーディネートという意味合いがそろわないものを調整するという意味合いでしょうけども今後の計画、見込みにあせてお願いいたします。

委員長（高重洋介君） 都市整備課長。

都市整備課長（西吉八起君） 今後の計画の方が、都市整備課で今年以降の予定というの

は現段階ではちょっと持っていないのですが、担当課の方にそこら辺を聞いた話では、現在7月の豪雨災害を受けまして復旧復興のための費用を捻出する必要がある状況もあり、現状においては国からもらえる財政支援、これも明らかでない状況なので、都市施設の機能、規模、実施時期、これが明確にできないために今年度においては市の内部で検討をする時間として進めたいという意見をいただいております。

以上です。

委員（川本 円君） 今後の予定、あと2年あるのですか。

委員長（高重洋介君） 川本委員、今後の、29年度が都市整備課の所管であって30、31年は違う……。

委員（川本 円君） 別の課だから。

委員長（高重洋介君） 今後のことはちょっと担当課ではないと難しいのではないでしょうかね。

委員（川本 円君） だったらいいです。

委員長（高重洋介君） いいですか。

松本委員。

委員（松本 進君） 今ありました集約都市形成に関わる関連質問になるのですが、今ちょっと説明を聞いて複合施設に関わると言われたのですが、当初予算の説明概要では公共施設ゾーンの整備の民間活用ということを言われていますから、いろいろ施設はありますよね。ですから、今回この調査、この決算で集約都市形成の調査をしたのは公共施設ゾーンの中にはいろいろ公共施設がありますけれども、今説明したのはその中の複合施設の分を対象にして3年間とかいろいろありましたが、ということでよろしいのでしょうか。後は違うということでよろしいのでしょうか。

委員長（高重洋介君） 都市整備課長。

都市整備課長（西吉八起君） 今公共施設ゾーンの将来的な検討ということでいただいたんですが、将来的には公共施設ゾーンです。市の持っている公共施設、それ以外に民間が入るとかいろいろなパターンがあるので、ゾーンと捉えていただいた方が妥当かと思えます。

以上です。

委員長（高重洋介君） 松本委員。

委員（松本 進君） だから複合施設ももちろん予算的にも大きな分になるのですが、公

共施設のゾーンの全部を対象にした民間活用の調査というふうに理解していいのですね。

委員長（高重洋介君） 建設部長。

建設部長（有本圭司君） この集約都市形成事業というのは、先ほど担当課長から説明がありましたように、将来ここの跡地利用、公共施設ゾーンを一体どのような形で、まず現状がどうか、それから市場のニーズがどうか、それからどういったことが手法として考えられるか、PFIであったりとかいろんな民間活用がどうかという形で様々に総合的に調査をしたというのがこの集約都市形成支援事業でございます、1年間こういったいろんな調査をして、引き続き、先ほどちょっと説明があったのですが、30年度から公共施設整備調整課という新たな課ができましたので、そちらの方で一括して今度そういう公共施設ゾーンについては取組をするということがありますので、お互いに連携をしながら今後公共施設ゾーンについては取り組んでいきたいというふうに考えております。

以上です。

委員長（高重洋介君） よろしいですか。

委員（松本 進君） はい。

委員長（高重洋介君） そのほかございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） ないようでしたら、公園管理費の方に移ります。

256ページの下段から259ページ、もう1枚めくっていただいて261ページの上の段ですね。1行だけですね。

その中の259ページの備考欄の一番上ですね、バンブー体育館施設管理に要する経費を除きます。

大川委員。

委員（大川弘雄君） 259ページ、4番です。的場海水浴場に要する経費、これの利用状況をお願いします。

委員長（高重洋介君） 都市整備課長。

都市整備課長（西吉八起君） 的場公園の海水浴場の利用者推移についてですけれども、平成29年度が西海水浴場が6,025名、東海水浴場768名ということで計6,793名となっております。

以上です。

委員長（高重洋介君） 大川委員。

委員（大川弘雄君） これをどのようにして使うかという目的のところに入っていきわけですが、今からは観光として使っていきたいという思いがあるのではないのでしょうか。そうすると駐車場も含めて、東側は700人ぐらいですか、まだまだ活用が少ないということで。そういう活用の方法も含めながら、観光として使いたいと思うわけです。そうすると駐車場を有料化して管理することによってトイレもきれいになっていたり、市外の方も来やすい海水浴場にしていけると思います。今どちらかというところちょっと公園的な使い方になっているのかなと思うのですけれども、海は竹原の宝ですから、是非これを活用して観光振興にしたいと思いますけれども、そのあたりはどのようなお考えですか。

委員長（高重洋介君） 都市整備課長。

都市整備課長（西吉八起君） ちょっと先ほどの説明の訂正をさせていただきます。西と東が入れかわっておりまして、西海水浴場が今大川委員が言ったように768名、東海水浴場の方が6,025名ということになります。逆になります。

西の海水浴場の方の利用が少ないのをなるべく今後利用していただくということで、過去の計画というのが残っており、地権者の反対があって取り組んで、昨年度もその取組をもっと積極的に取り組めないかという御意見をいただきました。それに基づいて、うちの方でももっと観光客が来れるように看板等を刷新しまして英語表記、一部分中国語表記、こういうものを入れながら、周辺だけでなく外国人の方も受け入れられるような形をとりながら、市全体の観光にも少しでも役に立つような形というのを考えて進めていきたいと考えております。

また、今の西海水浴場の今後の計画については、ちょっと今年は豪雨災害で土砂崩れで現在通れない状況もあります。今年は的場海水浴場は土砂が入ったものですから、開設できていない状況で終わっております。その時に、今言われたように問い合わせの電話が結構入っておりまして、市外の方からの問い合わせが非常に多くいただきました。それを受けながら、市外からも非常に人気がある海水浴場ということで、将来的にもそこを充実させていきながら、施設も竹原市として整備、維持管理、その部分は公園部分になるのですが、それにある設備等も長寿命化、そういうのをやりながら取り組んで観光の一助になるようにも取り組んでいきたいと考えております。

委員長（高重洋介君） 大川委員。

委員（大川弘雄君） 観光としての見方をされているということで大変いいことだと思うのですけれども、観光にはいろんな目的があります。今年、県が初めて目的として上げた

ところではやっぱり収益性、収入、この部分を目的に上げています。これに対してはどちらかという甘いのではないですか。そうすると、どこで収益を持ってくるかという駐車場整備してゲートにして有料化をすることによってお金を落とさせていただき、そういった、いい海水浴場ではないとだめですよ、あそこに行きたいという海水浴場をつくって来ていただく。そういったことを考えていく必要があるのではないのでしょうか。いかがですか。

委員長（高重洋介君） 都市整備課長。

都市整備課長（西吉八起君） 海水浴場、的場公園の利益というか収入を上げていくということですけども、現在のところ今委員が言われたように有料化にしてというところまでは検討しておりません。今は一般の方が皆さんが自由に使っていて、自由にとまってもらって利用をなるべくしていただきたいと、そういう考えで進んでおります。今の収益に関しては、今後検討しながら進めさせていただきたいと考えております。

委員長（高重洋介君） 大川委員。

委員（大川弘雄君） 元フェリーのところの駐車場もそうですけれども、どこも駐車場というのは管理が難しいんですよ。置いたままにしておられる方もあったりする。その管理をするためには、やはりゲートをつくって有料化というのが管理として1番やりやすいというのはあります。是非その辺も検討していただいて、それが観光にもつながるといふことで頑張ってくださいと思いますが、いかがですか。

委員長（高重洋介君） 建設部長。

建設部長（有本圭司君） 駐車場等の有料化の御質問がございましたが、一つには的場公園と海水浴場が併設しているということなんで、都市公園ということもあるので公共サービスということで今駐車場については幅広く市民の方に利用していただいているということで有料化にはしておりません。

御指摘のあった、そういった海水浴場の中で様々な収益施設とか利便施設がある場合については、今後そういった一体的な計画を持って進めていかなければいけないという認識を持っておりますので、引き続き御指摘のあったことについては検討課題として受けとめて、再度様々な検討もしていきたいと考えております。今すぐはなかなか事業化ということとは難しいだろうと思うのですが、まず今回被災したので復旧を急いで、その後どういった形がいいのか、的場公園について総合的に検討していきたいというふうに考えております。

以上です。

委員（大川弘雄君） 是非検討してください。

以上です。

委員長（高重洋介君） その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） ないようでしたら、街路事業費ですね。

260ページから261ページ。街路事業費。

質疑のある方は、挙手にてお願いします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） はい。その下、駐輪場管理費。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） はい。その下、土地区画整理事業費ですね。

次のページの中ほどまでございます。

松本委員。

委員（松本 進君） 1点だけちょっとお尋ねしておきます。

土地区画整理事業の経費が1億4,700万円余り経費が執行されておりますけれども、毎年言っているのですが、決算年度と限定してもいいのですけれども、決算年度における事業効果と申しますか、ここをちょっと聞いておきたいと。

それで、参考に決算資料というのは86ページに出してもらって、ここの確かに小売業なんかの推移があります。これもまあ参考にできればちょっと参考にしたいと思います。

委員長（高重洋介君） 都市整備課長。

都市整備課長（西吉八起君） 新開土地区画整理事業の事業効果というところであるのですが、単年というか、昨年度も同じような回答をさせていただいたのですが、平成8年度以降、昨年度末までに戸建て住宅やアパートの住居施設、これは128棟新築されております。区域内人口は480人から1,040人に増加している状況になります。

居住施設以外においても商業施設、福祉施設が56棟新設されており、いつも言う市の全体人口をここで増やしている事業効果等にはないのですが、そういう人口減少とかそういうものの防止、その一助にはなっていると考えております。

以上です。

委員長（高重洋介君） 松本委員。

委員（松本 進君） ちょっと指摘と、後は部長にお願いできたらと思うのですが、この決算資料を見ていただいたら確かに新しいところには行かれるのでしょうかけども、竹原市内の全体の小売業、そこだけ今資料見ても平成21年から26年、28年という3カ年出してもらってますけども、2009年からこの7年余りでも59の事業所が減っているし、人口でも従業者も2.4%減っていると。

やっぱりそういった部分では全体でそういった状況が起こっているという面では、この分が毎回言っているようにこの区画整理事業が決定的な人口の歯止めになっていない、小売業の仕事を増やすということにはなっていないのではないかなという危惧をちょっとするのですが、そこはどうでしょうか。

委員長（高重洋介君） 建設部長。

建設部長（有本圭司君） 区画整理事業に関する御質問でございますが、先ほど都市整備課長が申しましたように、当地区においてはもともと農地だったのを区画整理をして現在道路等、公園を整備しまして、良好な市街地の形成ということで取り組んでおります。

既に御存じのように、道路ができることによって沿道利用されてファストフードであったり、あるいは住宅地も竹原市の中では一番多く新築しているというような状況もございますので、そういった中で様々な病院であったり、店舗の方も最近進出していただいておりますので、そういうような企業の進出においては雇用の場の確保であったり、あるいは本市の人口減少していることについては多少なりとも歯止めにかかっているのではなかろうかということで、転出人口の抑制ということで取り組んでおります。

さらには、市外からも若干定住対策ということで新たに入られているケースもございますので、そういった定住対策についても役割を果たしているという認識を持っておりますので、引き続きこの事業については早期完成を目指して取り組んでまいりたいというふうに考えてます。

以上でございます。

委員（松本 進君） わかりました。

委員長（高重洋介君） その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） 続きまして、262ページ、公共下水道事業費ですね。

質疑のある方は、挙手にてお願いします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） それでは、下水路費，その下ですね。

ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） それでは、262ページ伝統的文化都市環境保存地区整備費ですね。

264から65。その中の1景観道路・修景広場維持管理に要する経費について、質疑のある方は、挙手をお願いいたします。

ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） それでは、住宅費の方に参ります。

266ページ，住宅管理費ですね。266ページから269ページにかけてでございます。

質疑のある方はお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） それでは、270ページの用悪水路費，樋門維持管理費ですね。

質疑のある方は、挙手にてお願いします。

堀越委員。

委員（堀越賢二君） 271ページの樋門維持管理のところの15番，施設補修工事について、この内容をお願いします。

委員長（高重洋介君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） こちらの施設の補修工事，掛町のポンプ所のポンプ1台を交換するのに611万3,880円を支出しております。

以上でございます。

委員長（高重洋介君） 堀越委員。

委員（堀越賢二君） 先ほども別のところでの樋門の管理の件で話が出ました。この樋門の管理の重要性というものは今回の豪雨災害においても非常に問題点が出てきたところでもありますし、逆に樋門をしっかり整備をしているところはやっぱり安全が担保されているということで、非常に重要なところだと思います。

ちょうど平成29年度の決算というところで、平成28年6月には、ちょうど定例会中でもありましたので、大雨による被害が各地で発生をして大きな豪雨災害といたしますか、

大雨による被害が出ました。この時に出了たいろいろな問題点というところで、様々な補修工事もあったとは思いますが、先ほど掛町のポンプということではありましたが、この樋門の用悪水路の部分ではほかに推進していく部分もあると思うのですが、その部分については29年度はポンプということでしたが、認識として今後こういった整備が必要な箇所がというのはどのようなお考えでしょうか。

委員長（高重洋介君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） 竹原市内、かなりのポンプ、樋門を抱えております。この中で老朽化、動いてはおっても老朽化によって能力が低下したというポンプもございます。そういうものにつきましては今後計画的に補修、更新、また取り替えを行っていくということで、今回採決もいただいたところでもポンプが動いてはいるのですが、もう老朽化しているということで、いつとまってもおかしくないということで、あらかじめそういうところには予算を計上させていただいて早目に補修また更新という形で取り組んでいきたいと考えております。

以上でございます。

委員長（高重洋介君） 堀越委員。

委員（堀越賢二君） この部分においては施設の設備の充実ももちろんですけど、管理人さんに委ねている部分もかなりあると思うので、先ほどの質疑の方と重なりますが、そこら辺もしっかりと連携をとっていただいて、平時においては特に問題はないかと思うのですが、やはり有事においてのこの樋門の維持管理、修繕、こういったところ非常に重要なことですので、しっかりと平時からの準備、点検、確認というものを進めていただきたいと思います。

豪雨災害だけでなく、日ごろの市民の皆さんの生活の中でいろんな問題が出てくるのがどうしてもこういったような水路であつたりとか、樋門の状況、改善要望といったようなものが様々出ていると思いますので、そこら辺はしっかりと整備をしていただきたいと思います。豪雨だけでなくしっかりと進めていただきたいと思いますが、そちらについて。

委員長（高重洋介君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） このたびも豪雨災害の被害を受けております。また、言われるように平成28年にも竹原市は大雨によって被害が発生しております。樋門の管理につきましては、ポンプへ入るまでに遊水地を抱えているところにつきましては台風とか梅雨前

線，そういう予測がつく状態の時には遊水地の水位を通常よりも下げるように管理人と連携しながら対応しているところがございます。引き続き災害が起こらないよう適正な管理に努めていきたいと考えております。

以上でございます。

委員長（高重洋介君） そのほかございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） 続きまして，急傾斜地崩壊対策費。

270ページから271ページの下の段になります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） ないようでしたら，交通安全対策事業費ですね。

272ページから273ページですね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） ないようでしたら，災害復旧費の方に参ります。

324ページをお開きください。

公共土木施設災害復旧費，324ページ。

質疑はありませんか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） では，その下ですね。農林水産施設災害復旧費。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） それでは，港湾事業特別会計の方に移ります。

364ページをお開きください。

歳入の方から参ります。

歳入一括にて質疑を受けます。港湾事業特別会計歳入，質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） それでは，歳出の方に参ります。

366ページをお開きください。

港湾費，366ページから369ページにかけてあります。その下，予備費。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） それでは，公共下水道事業特別会計に移ります。

372ページをお開きください。

歳入の方から参ります。

分担金及び負担金から8の財産収入まで一括にて行います。375ページまであります。

質疑のある方は、挙手にてお願いいたします。

歳入ですね、ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） それでは、歳出の方に参ります。

376ページ、公共下水道費、総務費の1一般管理費、376ページから379ページ。

ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） それでは、その下、施設管理費。

それでは、事業費の1建設費に参ります。

380ページをお開きください。建設費。

大川委員。

委員（大川弘雄君） 381ページ、2番、公共下水道に要する経費でお聞きします。

どう言ったらいいかな、先ほどのままでいいかな。一応そこのところだけ。

どっから入ろうか、接続……。

委員長（高重洋介君） 下水道課長。

下水道課長（藤本嗣正君） 接続率につきましては、平成29年度末で設置された公共マスは2,298区画ありまして、うち1,272区画接続されております。よって、接続率につきましては55.4%が接続されたものとなっております。

以上でございます。

委員長（高重洋介君） 大川委員。

委員（大川弘雄君） 今回の災害のこともありましたけれども、この下水道というのは大変すばらしい事業だというふうに思っております。特に、今回の災害のような時は雨水管の方ですよね。排水設備というのがいいと、浸水しなかったところもある、したところもある。今回、町並み保存地区が浸水してしまったわけですけども、今回。この時点での話ですけども、公共下水道どこまで引っ張っていくかというのは大変重要な課題だと思っ

ているのですけれども、トイレのこともありますが、雨水管のことも含めて町並みの方までいくという考えはありますか。

委員長（高重洋介君） 下水道課長。

下水道課長（藤本嗣正君） 汚水と雨水の方が町並み保存地区にいつごろいくかと、今後どのように考えているかという御質問だと思います。

現在、公共下水道につきましては957.6ヘクタール、竹原市内の用途地域をほぼ網羅する区域で公共下水道の区域が定まっておりますが、昨年より事業の見直しを行っておりまして、国の方からおおむね10年で概成するよというということで今委員会の方でも説明をさせてもらっています。222.5ヘクぐらいで縮小するような形で概成10年という計画で事業実施しております。

その中で、今年度からは中通地区の方で事業認可を優先していつているところですが、最終的なエリアとして222.5ヘクの中には町並み保存地区入っております。その中で事業実施を汚水の方をまずさせていただきたいと思っております。雨水の方に関しましては今のところ具体的な計画はまだ持っておりませんが、今回の浸水状況を鑑みて検討はしていきたいと思っております。

以上でございます。

委員長（高重洋介君） 大川委員。

委員（大川弘雄君） 29年度の時点ではそこまで思っていなかったのですけれども、今回の災害を見るとやはり雨水も必要だというふうに考えます。是非早い時点での整備をよろしく願います。計画の変更もよしとされたので、是非いい方向に計画していただいで必要なところに早くということではいかがでしょうか。

委員長（高重洋介君） 下水道課長。

下水道課長（藤本嗣正君） 今の御質問でございますが、まず今うちの方が取り組んでおりますのが、駅前周辺及び中央排水区といたしまして本川と賀茂川の間区域ですね、これを今重点的にさせていただいております。それが終わり次第、次の区域の浸水対策というのを考えていきたいと思っておりますのでよろしく願います。

委員長（高重洋介君） よろしいですか。

大川委員。

委員（大川弘雄君） そのあたりがどこも欲しいのだと思うのです。皆さんだんだん必要性がわかってきたので、そうやってきたのですけれども、優先順位ですよ。観光のこと

もあります。それらも含めて優先順位をよく加味しながら、是非早い時点で町並みの方にも持っていかないといけないなというふうに思っています。よろしくお願ひします。

以上です。

委員長（高重洋介君） その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） ないようでしたら、公債費の方に移ります。

282ページをお開きください。

公債費またその下の予備費ですね。一括にてお願ひします。

質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高重洋介君） ないようでしたら、以上で建設部関係の集中審査を終了します。

都市整備課長。

都市整備課長（西吉八起君） 先ほど御質問いただきました竹原市における住宅の耐震化率ということなんですけれども、平成28年耐震促進化計画第2期、これを策定の中で市の住宅は1万720戸。このうち7,415戸が耐震性を有しているということで69.1%の住宅が耐震性を有するという形で調べたものがあります。29年度に済んだ数はちょっとわかりませんけれども。

以上になります。

委員長（高重洋介君） よろしいですね。

以上で建設部関係の集中審査を終了いたします。

次回は、25日火曜日10時から総括質疑を行いますので、各委員におかれましては質疑の準備をお願いいたします。

以上で第4回決算特別委員会を終了いたします。

御苦勞さまでした。

午前11時30分 散会